6　本日の展開

ねらい　　〇自分なりのめあてをもち，今までの経験や知識をもとに，気付いたり考えたりしたことを話しながら遊びを進めていく楽しさを味わう。　〇１年生と一緒に活動することを楽しみにする気持ちを膨らませる。

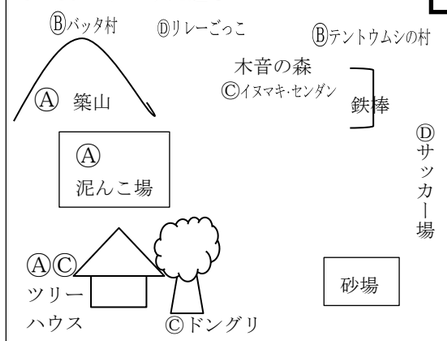
8：35　登園

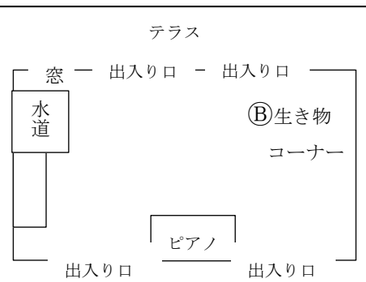
・朝の挨拶を交わしながら温かく迎え入れ，落ち着いた気持ちで一日がスタートできるようにする。

9：05　げんきっこタイム

9：15　朝の会

9：30　みつけた遊び





10：40　片付け

11：00　学級で共有する活動

12：00　弁当

本時

13：00　学級で共有する活動

「どろだんごでどんなきょうぎをするとたのしいかな。みんなでかんがえよう。やってみよう！」

13：45

14：00　降園準備

14：30　降園

予想される幼児の活動	教師の援助（・共感する，見取る，見守る　〇意味付け　☆価値付け　⇒力付け　□環境の構成）
Ⓐ土・砂・泥の遊び　（泥団子作り，泥団子転がし，さら粉作り，ごちそう作り） ・自分なりのめあてをもち，必要な土や泥を選んだり，水の量を考えたりして，土の性質を生かして作り方を工夫する。 ・新たな発想をもったり，友だちがしている工夫を取り入れたりしながら試してみる。 ・友だちと作りたいもののイメージや思いを共有し，自分の考えや思いを伝え合いながら，一緒に作ったり遊びを考えたりする過程を楽しむ。 ・より細かいさら粉を集めるために，集める方法や使う道具などを自分なりに考えて工夫してみる。 ・「わいわいお楽しみ運動会」でどんな競技ができるかを考え，試したり工夫したりする。	☆自分が作りたいもののイメージに合うように，使う土や泥の性質を考えて遊びに取り入れる姿を認め，その性質が生かされている場面で価値付ける言葉をかける。 ⇒一人一人の遊びの経過を振り返る言葉をかけ，イメージの実現に向かって次はどうしていくか，子ども自身が新たな発想をしたり，友だちの工夫を思い出したりして試行錯誤する姿につながるよう力付ける。 ☆泥団子を使って新たな遊びを考えたり，作り方を工夫したり，競技を考えたりするなど，子どもの発想や，繰り返してきたこと，根気強くやってきたことを認め，自信につながっていくようにする。また，必要に応じて学級みんなで共有し，遊びを実際にやってみたり，アイデアを認め合ったりする時間を作る。 □自分の作っているものや遊びの場，遊びに必要な道具を大切に整えられるように，場や方法を子どもと一緒に考える。その日に遊んだものを教師も大切に扱い，学級みんなでその子の思いを共有できるようにとっておく。
Ⓑ身近な小動物と触れ合う遊び **（ダンゴムシ，バッタ，カマキリ，テントウムシ，カブトムシ，クワガタ）** ・飼育している小動物を観察して生態を調べ，その特徴や発見したことを友だちと一緒に伝え合い，興味関心を深める。また，小動物に気持ちを寄せて世話をし，小動物が喜ぶように飼育ケースの中を工夫したり，エサを考えたり，遊び場を考えて作ったりする。 ・具体的な名前や大きさに興味をもち，図鑑で調べたり友だちに聞いたり，大きさを測ってみたり観察したりする。わかったことを絵に描いたり，写真を切り貼りしたりする。	☆友だちと一緒に小動物に触れたり観察したりする中で，気付いたり発見したりしたことを可視化し，思いを共有したり，新たな気付きや発見につながったり，興味関心が深まっていくようにする。 ☆⇒気持ちを寄せて世話をしたり遊び場を考えたりする姿を認め，「どうしたら喜ぶかな」など声をかけることで，より愛着をもったり命を大切にしようという気持ちをもったりしながら触れ合えるようにする。またそういう姿がみられた時には，その姿を価値付けていく。
Ⓒ秋の自然と触れ合う遊び（色水遊び，木の実採り，ごちそう作り） ・園庭の草花や実を使って，自分の作りたいイメージに合った草花や実などを選び，試したり工夫したりして色水を作る。 ・ドングリやクヌギ，イヌマキ，コスモスの花びらなど自然物を集め，色合いや形の特徴を考えながら，ごちそう作りや遊びに生かす。 ・自分の考えや思いを友だちと伝え合いながら，一緒に作る過程を楽しむ。 ・高い木にある木の実を，どのように採るかを友だちと考えたり，協力したりして採る。	☆友だちと一緒に，お互いの考えを出し合って遊びを進めていく姿や，友だちの良いアイデアを取り入れたりしている姿を認めていき，イメージを共有して遊びを進めていこうとする姿を価値付ける。 ⇒それぞれの遊びを子ども同士で認め合い，思いやイメージを共有する姿を丁寧に捉え，それぞれの遊びがつながったり，共通のめあてや願いにつながったりして遊びが発展できるよう力付ける。 ☆異年齢の友だちを遊びに誘ったり，遊び方を教えたりする姿を認め，関わりを楽しめるように支える。
Ⓓ体を動かす遊び（リレーごっこ，縄跳び，鉄棒，サッカー，自転車） ・友だちと一緒にルールを考えたり，チーム分けや役割分担をしたりして，思いや考えを伝え合いながらリレーごっこやサッカーを楽しむ。 ・鉄棒や縄跳びなど，自分のめあてをもち，なかなか出来ないことや，難しいことに向かって挑戦する。	☆友だちのできるようになりたいという思いを共有し，頑張る姿を応援したり，自分なりのやり方を教えたりする姿を価値付ける言葉をかける。 ☆⇒お互いが楽しく遊ぶためにどうするといいかを子ども同士で考えられるよう力付ける。言葉で伝え合いながら自分たちでルールを考えていけるように見守り，必要に応じて，子どもたちの考えを整理したり，思いを言葉で表出する支えをしたりする。

学級で共有する活動

1．前回、「わいわいお楽しみ運動会」について，「泥団子」の遊びについて，その遊びを生かして，どんなことができるかを話し合った内容を振り返り，イメージを膨らませながら話を聞く。（過去の遊びの写真を観る，１年生からのビデオを観る）

1　⇒1 年生と一緒に「わいわいお楽しみ運動会」をすることや，事前に話題になったことなどを振り返り，１年生からのビデオを観て，子どもたちの思いを高めたり，イメージしやすくしたりする。
・楽しみにしている気持ちをもったりイメージを膨らませたりする姿を受け止め共感していく。

「どろだんごでどんなきょうぎをするとたのしいかな。みんなでかんがえよう。やってみよう！」

2．泥団子を使った遊びを，どのような競技にしていくか，競技の内容について話し合う。
・私は〇〇がしたい。　　・一緒に泥団子を作りたい。
・〇〇くんの考えいいね。　　・１年生さん泥団子作ったことあるかな。
・一緒にしたいけど，もし失敗したらどうしよう。
・泥団子使うなら数が足りないからたくさん作らないとね。
・固い泥団子がいいかもしれないね。

2　⇒一緒に考えたり，意見を出し合ったりして考えを深めていけるように，子どもたちの思いをつなげたり，考え方が伝わりやすくなるように言葉を添えたりする。
⇒自分たちの遊びを思い出したり，遊びと競技を関連付けたりできるように，思いや気付きを引き出すような問いかけをしたり，思い出したことを言語化したり絵に描いたり，グルーピングしたりしていく。
・☆話したいことを子どもの言葉や身体などで表すことができるよう，伝えたくなる気持ちへと広がるように，遊びの過程で子どもが考えたことに共感し，価値付けていく。特に発想が表現されていた場面，思いを伝え合っている場面等を価値付ける。

3.学級のみんなで，自分たちで話し合った競技を実際にやってみる。（グループ）
・楽しいね。もっとこうしようよ。　　・築山がザラザラしていて団子がこわれそう。
・難しいね。やってみると簡単だね。　　・この団子すごく固いね。これはやわらかいね。
・もっとこうしたほうがいいかな。　　・団子が足りなくなりそう。

3　⇒子どもたちの考えたことが実現できるように，実際にやってみることで，いろいろな気付きを引き出したり，諸感覚を使って新たに感じたことや工夫したことに共感したりしていく。

4.実際にやってみてわかったことや新たに考えたり工夫したりしたことなどを振り返り，みんなで共有する。また，次への期待感や意欲をもつ。
・やってみたらおもしろかった。
・〇〇なところがおもしろかったよ。　　・〇〇のやり方がおもしろそうだったね。
・たのしかったね。１年生さんとも一緒にやってみたいね。

4　・☆⇒次への期待感をもったり，意欲につながったりするように，みんなで楽しんだ過程や新たな気付きなどを共有し，みんなで遊びを創っていく過程を価値付けていく。
□必要に応じて，電子黒板やデジタルカメラを使い，遊びの写真や動画などを映し視覚化して共有できるようにする。
□一人一人が思ったことや考えたことを話し，自分のこととして話し合いができるように，発言できにくい子どもに対する手立てとしてＴ１T2 で連携を図る。
□話し合いの中で子どもたちが自分たちの遊びをもとに発想したりや関連づけたりできるよう，午前中の遊びへの思いや願いを T1T2 で把握し，つなげていけるようにする。